

都市再生整備計画 事後評価シート

山形市中心市街地地区

令和3年3月

山形県 山形市

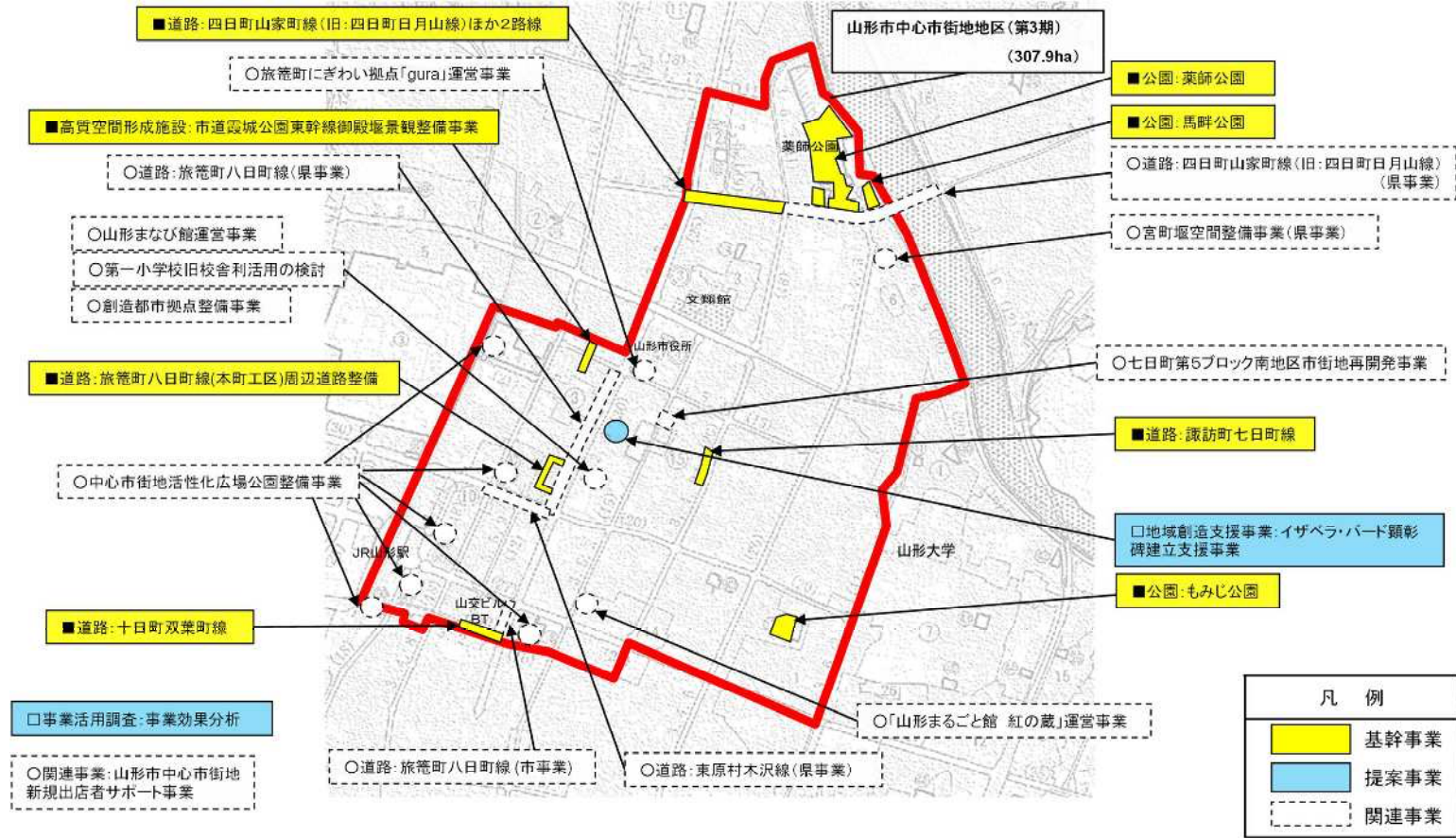
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山形県		市町村名	山形市		地区名	山形市中心市街地地区(第3期)			面積	307.9h		
交付期間	平成30年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	4171.7百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路事業(四日町山家町線(旧:四日町日月山線)、諏訪町七日町線、十日町双葉町線、旅籠町八日町線周辺道路)、公園(薬師公園、もみじ公園、馬畔公園)									
			提案事業	事業活用調査(事業効果分析)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	高質空間形成施設(御殿塚整備事業)	事業条件の変化により削除				影響なし				
			提案事業	第一小学校旧校舎利活用の検討 諏訪町七日町線まちなみづくり推進検討事業	旧校舎利活用の検討:関連事業への移行 まちなみづくり推進検討事業:事業区域内での調査を行わなくなったため				旧校舎利活用の検討:関連事業への移行であるため、指標及び数値目標は据え置き まちなみづくり推進検討事業:影響なし				
	新たに追加した事業		基幹事業	高質空間形成施設(市道露城公園東幹線御殿塚景観整備事業)	露城公園周辺の景観整備を図るため追加				影響なし				
			提案事業	イザベラ・バード顕彰碑の建立	イザベラ・バード来日140年を記念して建立				観光客の入込に関係するが、指標及び数値目標は据え置く				
	交付期間の変更		当初	平成30年度～令和2年度									
変更													
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	街なか観光客の入込数	人/年度	962,700	H28	1,041,400	R3	—	799,779	×	あり	観光客の入込数は全体的に減少傾向になっている。令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が出始めているとともに、山形まなび館において創造都市の拠点施設整備の段階に入っており、開催イベントが減少した。この影響でまなび館の来場者数が大きく減少し、街なか観光客の入込数も減少した。	令和4年度
	指標2	区域内地価公示価格	円/㎡	129,000	H29	130,300	R3	—	132,675	○	あり	道路や公園等の整備、中心市街地での高層マンション等の建設により、地域の魅力が向上し、地価が上昇した。	令和4年度
	指標3										あり		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	歩行者・自転車通行量	人/日	27,609	H28	/	28,996	/	/	/	あり	中心市街地の道路等の整備、施設運営等により、街なかの歩行者・自転車通行量やバス利用者数は増加しており、街の賑わいが創出された。	
その他の数値指標2	バス利用者数	人/年度	5,801,036	H28	/	6,076,068	/	/	/	あり			
その他の数値指標3		人/年度								あり			
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	指標1及び指標2について、事業進捗や数値目標達成状況等のモニタリングの実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● *継続して指標1及び指標2についてモニタリングの実施					
	住民参加プロセス	街路事業の沿線において、住民参加によるまちづくり委員会等を組織して、街路空間の歩道(石張デザイン)や街路樹の選定		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● *今後も街路事業実施の際には同種の組織を立ち上げるなど住民参加の機会を設け、地域住民の意見を沿道のまちづくりに活用					
	持続的なまちづくり体制の構築	「山形市中心市街地ランドデザイン」の策定及びその具体化に向けた推進体制の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● *「山形市中心市街地ランドデザイン」に位置付けられた各戦略プロジェクトの実施 *再開発事業やリノベーション事業等による、老朽建物等の整備改善の促進 *中心市街地内の大規模な公共的土地における、ゾーニングに沿った土地活用の推進・誘導					

様式2-2 地区の概要

山形市中心市街地地区(山形県山形市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	数値	年次	数値	年次	数値	年次
大目標：ひとが活きるまち 目標1：山形の歴史、文化資源の発信と継承 目標2：賑わい拠点の創出	街なか観光客の入込数	人/年度	962,700	H28	1,041,400	R3	799,779	R1
	区域内地価公示価格	円/㎡	129,000	H29	130,300	R3	132,675	R2



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化基本計画等に基づき事業を進めているが、観光客の入込客の数値目標は達成しなかった。 道路整備が進み、歩行者・自転車通行量やバス利用者数が増加するなど、街なかのアクセス性が向上した。 薬師公園、馬畔公園、もみじ公園の園路整備や、道路整備とともに行われた歩道の拡張によって、歩行空間が向上した。 七日町第5ブロック南地区市街地再開発事業により、中心市街地の賑わいの創出と住環境の向上を目指し、周辺環境の一体的な整備が進んでいる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備及び公園整備を推進し、良好な交通環境や歩行環境等の形成・維持に努める。 地区内のバス利用者数は増加していることから、交通結節点における乗換機能等の向上を図る。 道路・公園等のハード整備に合わせながら、山形まるとと館のQ1プロジェクトとともに街全体の賑わいを創出する。 行政と商店街やまちづくり会社が連携し、賑わい創出を促進していく。